

## フクトコブシ人為三倍体の生残，成長および成熟

工藤真弘・荒井克俊・木本 巧・皆川 恵・藤野和男

本研究内容は水産増殖に掲載されているため，論文要旨のみを記載した。

### 【要 旨】

低温処理によって作出したフクトコブシ人為三倍体の生残，成長，成熟について二倍体との違いを明らかにした。幼生期の生残は低温処理実験区が劣ったが，剥離（受精約6ヶ月）後の生残には実験区間の顕著な相違は認められなかった。殻長と体重については二倍体と三倍体の違いは認められなかったが，重量比において三倍体は二倍体より足部筋肉重量比が高く，特に雌においてその傾向が強かった。

三倍体の雌は二倍体と同様に成熟した卵母細胞を持ったが，未熟な卵母細胞も多数見られた。成熟した卵母細胞の多く見られる個体では二倍体と同程度の成熟度指数を示したが，未熟な卵母細胞の多い個体では成熟度指数が低く，生殖巣形成が抑制されていた。

三倍体の雄は二倍体と同程度の成熟度数を示し，生殖巣が形成された。ただし二倍体の精巣は精子で満たされていたが，三倍体では精子は認められなかった。

水産増殖，42 (4) : 605-613 (1994)